

## 平成18年度完成 優良工事等の事務所表彰式及び 選定結果について（お知らせ）

～ 優良工事等金沢河川国道事務所長表彰で、13団体・5名が表彰される ～

優良工事等の表彰は、国土交通省金沢河川国道事務所所管の工事等に関し、その施工及び成果が特に優秀であって、他の模範となるものを選定し、表彰することにより、建設技術の向上と建設事業の推進に役立てることを目的としています。

つきましては、表彰式を下記のとおり金沢河川国道事務所で開催しますのでお知らせ致します。

また、局長表彰及び事務所長表彰の優良工事となった工事について、下請負者においても工事の施工に貢献し、専門技術の維持、向上に貢献した企業並びに技術者を表彰するものであります。

あわせて、選定結果についてお知らせします。

《開催日時等》

記

1. 日時：平成19年7月23日（月） 9：30～10:30
2. 場所：金沢市西念4丁目23番5号 金沢河川国道事務所 2F 会議室  
Tel (076) 264-8800

### 【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

工事品質管理官 横山 信行

Te l : 076-264-8800 (内線510)

## 平成 18 年度完成優良工事等の選定について

昭和 51 年度に優良工事についての金沢工事（現金沢河川国道）事務所長表彰が創設されて、今回で 32 回目となります。

優良工事及び優良建設技術者（工事）の金沢河川国道事務所長表彰制度では、所管の請負工事に関し、その施工が優良であって他の模範とするに足りるものを優良工事及び優良建設技術者として選定し表彰することにより、技術の向上、建設工事の適正化、建設事業の健全な発展を促進し、もって公共事業の推進に寄与することを目的とするものです。

平成 18 年度完成の金沢河川国道事務所における工事等件数は 165 件で、その中から優良工事として 6 団体、工事の優良建設技術者として 1 名を選定いたしました。

なお、金沢港湾・空港整備事務所並びに金沢営繕事務所では今年度は表彰の該当がありませんでした。

選定された工事等は、何れも施工管理、現場管理、工程管理が充分で、出来形及び品質、出来映えが優れていることに加え、創意工夫、新工法、新素材の積極的活用による生産性の向上、イメージアップへの取組み状況等についても評価されたもので、総合的に判断して表彰の目的に充分な優秀な工事等で、他の模範となるものです。

また、委託業務及び優良建設技術者（委託業務）は、現地調査結果等の反映、解析等の技術力や処理能力、コスト縮減や新技術の活用、照査の面で優れるほか、所期の目的をよく理解し、成果の取りまとめに向けて顕著な努力が伺われ、何れも優秀な委託業務等で、他の模範となるものです。

優良委託業務及び優良建設技術者（委託業務）の金沢河川国道事務所長表彰は、金沢河川国道事務所における委託件数 87 件の中からそれぞれ 4 団体、1 名を選定いたしました。

優良工事等に選ばれた請負業者及び建設技術者に対して北陸地方整備局金沢河川国道事務所長が表彰を行います。

また、局長表彰及び事務所長表彰の優良工事となった工事について下請負者においても工事の施工に貢献し、専門技術の維持、向上に貢献した企業並びに技術者として、金沢河川国道事務所では 3 団体、3 名を事務所長表彰するものです。

なお、表彰式は金沢河川国道事務所では 7 月 23 日（月）に実施する予定です。

また、局長表彰の伝達式もあわせて実施する予定です。

# 平成18年度完成 優良工事等選定一覧表

(局長表彰 金沢河川国道事務所管内分)

金沢河川国道事務所

## ◆《 優良工事 》

番号	表彰種別	工 事 名	請 負 者 名
1	局 長	安宅新直立堤災害復旧(その3)工事	株式会社 北都組
2	局 長	庄・加茂道路工事	大鉄工業 株式会社 北陸支店

## ◆《 優良技術者(工事) 》

番号	表彰種別	技 術 者 名	工 事 名	所 属 会 社 名
1	局 長	西田 亮重 (監理技術者)	安宅新直立堤災害復旧(その3)工事	株式会社 北都組
2	局 長	北瀬 健一 (監理技術者)	庄・加茂道路工事	大鉄工業 株式会社 北陸支店

## ◆《 優良委託業務 》

局長表彰該当無し

## ◆《 優良技術者(委託業務) 》

局長表彰該当無し

# 平成18年度完成 優良工事等選定一覧表

(金沢河川国道事務所長表彰)

【金沢河川国道事務所】

## 《 優良工事 》

番号	表彰種別	工 事 名	請 負 者 名
1	事務所長	野町広小路電線共同溝設置工事	株式会社 金沢舗道
2	事務所長	浜佐美直立堤応急対策工事	株式会社 向出組
3	事務所長	洲衛舗装工事	北川ヒューテック 株式会社
4	事務所長	金沢河川国道事務所管内光ケーブル等改修工事	北陸通信工業 株式会社
5	事務所長	別当谷災害復旧その10工事	永井建設 株式会社
6	事務所長	小松人工リーフ(その5)工事	日本海建設 株式会社

## 《 優良技術者(工事) 》

番号	表彰種別	技 術 者 名	工 事 名	所 属 会 社 名
1	事務所長	西田 佳章 (現場代理人) (監理技術者)	浜佐美直立堤応急対策工事	株式会社 向出組

## 《 優良委託業務 》

番号	表彰種別	委 託 業 務 名	請 負 者 名
1	事務所長	手取川堤防詳細点検地質調査作業	株式会社 ホクコク地水
2	事務所長	金沢東部環状道路 東環鈴見跨道橋(仮称)予備設計業務委託	新構造技術 株式会社 北陸支店
3	事務所長	平成18年度 河川水辺の国政調査業務委託	株式会社 国土開発センター
4	事務所長	平成18年度 手取川・梯川流量観測作業	株式会社 利水社

## 《 優良技術者(委託業務) 》

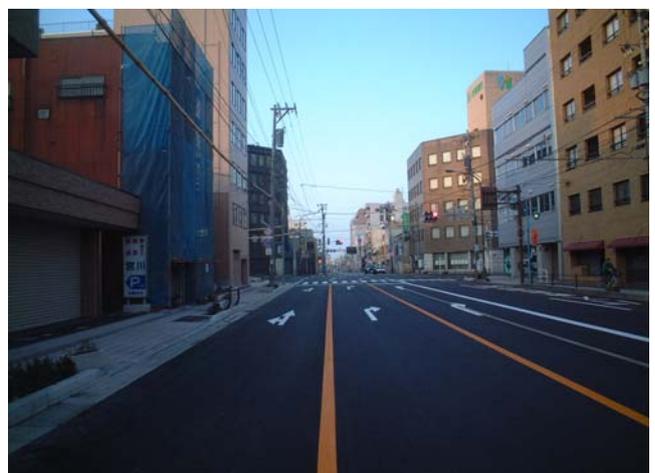
番号	表彰種別	技 術 者 名	委 託 業 務 名	所 属 会 社 名
1	事務所長	宮田 隆志 (主任技術者)	手取川堤防詳細点検地質調査作業	株式会社 ホクコク地水

請負者	株式会社 金沢舗道	事務所名	金沢河川国道事務所
	代表取締役 井川 外司	工期	平成17年12月27日から 平成19年 3月30日まで
	石川県金沢市長田2丁目4番8号	当初 請負金額 (千円)	122,850
工事名	野町広小路電線共同溝設置工事	工事場所	石川県金沢市野町1丁目
工事内容	電線共同溝工 L=200m  ・管路工 1式 ・付帯工 1式 ・舗装工 4,170m <sup>2</sup> ・縁石工 1式  ・道路付属物 1式 ・排水構造物 1式		
選定理由	本工事は、一般国道157号の電線共同溝工事で、併せて野町広小路交差点の拡幅を行う工事である。 工事箇所は、金沢市の中心市街地の自動車交通・歩行者交通の多い箇所であり、しかも多数の地下埋設物件や電柱等地上の物件を移設しながら工事を進める箇所であったが、沿道住民との連絡調整を適切に行い無事故で、出来映えも良く工事を完成いたしました。		



起点方向から

野町広小路交差点方向を望む



請負者	株式会社 向出組	事務所名	金沢河川国道事務所
	代表取締役 山川 正行	工期	平成18年11月 8日から 平成19年 3月30日まで
	石川県加賀市下河崎町へ18番地	当初 請負金額 (千円)	14,700
工事名	浜佐美直立堤応急対策工事	工事場所	石川県小松市浜佐美地先
工事内容	堤防・護岸(H18.11.7被災) ・消波工 1式 消波ブロック据付(20t) 176個 平ブロック布設(8t) 38個 ・天端被覆工 1式 大型土のう 61袋 ・仮設工 1式 工事用道路 1式	堤防・護岸(H19.1.7被災) ・消波工 1式 消波ブロック据付(20t) 217個 ・天端被覆工 1式 異形ブロック据付(12t) 180個 平ブロック据付(8t) 178個 平ブロック据付(5t) 48個 大型土のう 1,153袋 ・仮設工 1式 工事用道路 1式	
選定理由	<p>本工事は、H18.11.7被災及びH19.1.7の冬季風浪による延長約207mに渡る直立堤倒壊(H19.2.15増破)並びに背面土砂(防潮堤)の土砂流出対策のための応急対策工事である。</p> <p>本工事は冬季風浪において直立堤開口部が発生したため、早急な被災拡大防止が要求された緊急的な工事である。</p> <p>冬季の悪条件下の工事であり、天候により日々変化する現場状況を踏まえ、臨機の対応など、適切な施工管理や積極的な工程管理のもとに、劣悪な現場条件の中、安全施工によって無事故で応急対策を完成させた。</p>		
			
応急対策状況(起点より終点を望む)			

請負者	北川ヒューテック株式会社	事務所名	金沢河川国道事務所
	取締役営業副本部長 坂本 要二	工期	平成17年10月13日から 平成18年 6月20日まで
	石川県金沢市神田1丁目13番1号	当初 請負金額 (千円)	278,250
工事名	洲衛舗装工事	工事場所	石川県輪島市三井町洲衛～ 鳳珠郡穴水町麦ヶ浦地先
工事内容	アスファルト舗装工 L=1.8km ・舗装工 22,900m <sup>2</sup> ・ASカーブ工 874m ・排水工 2,567m ・電線工 1,230m		
選定理由	<p>本工事は、能越自動車道整備事業の穴水道路の輪島市洲衛から穴水町麦ヶ浦地先の間のL=1.8kmの舗装工事である。</p> <p>本工事箇所に隣接する工事(舗装工事・防護柵工事・電気関係工事)との工程調整、また冬期間における除雪作業をしながらの適切な施工管理及び工程管理のもと、出来形・出来栄も優れ工期前に無事故で完成させた。</p>		



輪島方向を望む

請負者	北陸通信工業 株式会社	事務所名	金沢河川国道事務所
	代表取締役社長 辰川 伸一	工期	平成18年 4月14日から 平成19年 3月31日まで
	石川県金沢市問屋町1丁目57番地	当初 請負金額 (千円)	19,635
工事名	金沢河川国道事務所管内光ケーブル等 改修工事	工事場所	金沢河川国道事務所管内
工事内容	既存光ケーブル等の改修 一式 ・光ケーブルの敷設、撤去 ・光ケーブルの接続及び試験調整		
選定理由	<p>本工事は、治水及び道路管理用に敷設している既存の光ケーブル(地中埋設配線及び架空配線)が他の土木工事等の施工に支障となる場合、事前に速やかに移設・復旧(切断、引抜き、再架設及び接続)を行うものである。</p> <p>これらを実施するため、その調査手順や現地調査、各工事の工期等に対応した実施方法の検討及び実施施工等各段階において、関係機関等への事前協議・確認及び住居近隣工事では近隣住民へ事前工事案内を行い、各工事請負者から要求された工事期間内で、情報切断等の影響を最小限に抑えつつ無事に移設・復旧を完了させた。</p>		
			
刈安交差点の光ケーブル張替(写真右上から信号機方向上空の3本の光ケーブル)			

請負者	永井建設 株式会社	事務所名	金沢河川国道事務所
	代表取締役 山口 直	工期	平成18年 3月21日から 平成18年12月22日まで
	石川県 白山市 白峰 ニ164番1地	当初 請負金額 (千円)	108,150
工事名	別当谷災害復旧その10 工事	工事場所	石川県 白山市 白峰 地先
工事内容	砂防えん堤工(腹付工) <ul style="list-style-type: none"> <li>・土工(掘削) 1,100m<sup>3</sup></li> <li>・土工(埋戻) 180m<sup>3</sup></li> <li>・コンクリート工 650m<sup>3</sup></li> <li>・型枠パネル製作据付 377m<sup>2</sup></li> <li>・既設コンクリート表面処理 226m<sup>2</sup></li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無人化施工支援(映像機器等) 1式</li> <li>・仮設工 1式</li> </ul>		
選定理由	<p>本工事は、平成16年5月に発生した別当谷の崩壊に伴う土石流によって被災した砂防えん堤群の災害復旧工事である。現場は白山国立公園特別保護地区内の標高1500mに位置し、雪解けから降雪まで5ヶ月間の作業期間でかつ濃霧による作業中止も頻繁なうえ、地形が急峻のため落石や斜面崩壊・土石流の発生が想定される狭い谷での作業など、自然条件や地形条件が非常に厳しい中での無人化施工の工事である。土石流発生に対する安全対策が重要である中で、良い品質・高い安全性を目指した無人化施工を追求し、独自の工法や機械設備などを考案し優秀な施工管理のもと、出来栄も良く無事故で完成させた。</p>		
			
別当谷第22号砂防えん堤 復旧完成 (下流面腹付補強)			

請負者	日本海建設株式会社	事務所名	金沢河川国道事務所
	取締役社長 小柳 正彦	工期	平成18年 6月13日から 平成18年11月30日まで
	石川県金沢市神田1丁目3番10号	当初 請負金額 (千円)	143,850
工事名	小松人工リーフ(その5)工事	工事場所	石川県小松市浜佐美地先
工事内容	海域堤防 1式 海域基礎工 1式 ・捨石工 1式 捨石(C-50) 670m <sup>3</sup> 捨石(100-500kg/個) 6,320m <sup>3</sup> 捨石(1t/個) 1,420m <sup>3</sup>	海域堤本體工 1式 ・海岸コンクリートブロック工 1式 海岸ブロック製作(鉄筋ブロック、重量18t) 126個 海岸ブロック据付 140個	
選定理由	<p>本工事は、石川海岸小松工区における水平透過板中空ブロックを用いた新型人工リーフの工事である。</p> <p>本工事施工箇所は隣接工事が存在し、また海上作業時期が限定される複数工事が輻輳する中、ブロック製作から設置に至る間、適切に施工管理を行い、海上作業の調整などの確な工程管理のもと厳しい現場施工条件の中、創意工夫を持って安全施工に取り組み、工期前に無事故、無災害で工事を完成させた。</p>		



人工リーフ整備状況(海側から陸方向を斜め上空方向より望む)

技術者	西田 佳章	事務所名	金沢河川国道事務所	
	現場代理人 監理技術者	工事名	浜佐美直立堤応急対策工事	
	株式会社向出組 代表取締役 山川 正行	工事場所	石川県小松市浜佐美地先	
	石川県加賀市下河崎町へ18番地	工期	平成18年11月 8日から 平成19年 3月30日まで	
		当初 請負金額 (千円)	14,700	
工事内容	堤防・護岸(H18.11.7被災) ・消波工 1式 消波ブロック据付(20t) 176個 平ブロック布設(8t) 38個 ・天端被覆工 1式 大型土のう 61袋 ・仮設工 1式 工事用道路 1式	堤防・護岸(H19.1.7被災) ・消波工 1式 消波ブロック据付(20t) 217個 ・天端被覆工 1式 異形ブロック据付(12t) 180個 平ブロック据付(8t) 178個 平ブロック据付(5t) 48個 大型土のう 1,153袋 ・仮設工 1式 工事用道路 1式		
選定理由	<p>本工事の現場代理人・監理技術者として、被災区間の本復旧を考慮した仮設提案、応急対策提案、既設直立堤の転倒防止を図る施工提案など積極的に取り組み、技術的にも優れた対応を行い、迅速かつ的確に応急復旧工事を無事故で完成させた。</p> <p>また、臨機の対応も迅速であり、日々変化する被災状況・復旧状況を朝夕発注者に定期報告するとともに、拡大する被災箇所の拡大防止のため、隣接する県管理区間との施工等連絡調整並びに海岸保全施設点検等に積極的な対応を実施している。</p>			
				

請負者	株式会社 ホクコク地水 代表取締役 尾蔵 博  石川県金沢市御影町25番1号	事務所名	金沢河川国道事務所
		業務名	手取川堤防詳細点検地質調査作業
		工期	平成18年11月21日から 平成19年 3月28日まで
		請負金額 (千円)	17,115
選定理由	<p>本業務は河川堤防の浸透に対する安全性の評価を行うため、堤体及び堤体基礎地盤の地質構成とその性状を整理・解析し、安全性評価を行うための基礎資料を把握するため、地質調査を実施したものである。</p> <p>本業務の請負者は過去の周辺の地質調査資料や築堤実績等を総合的に整理した堤防築堤履歴図を作成し、適切に試料サンプリングや現状堤防の土質性状の把握に努め、地質調査を実施した。成果は限られた工期の中で、所期の目的を充分満足するものであり、その内容も高度なものであった。</p>		

請負者	新構造技術 株式会社 北陸支店	事務所名	金沢河川国道事務所
	支店長 糸川 仁	業務名	金沢東部環状道路 東環鈴見跨道橋(仮称)予備設計業務委託
	新潟県新潟市本町通7番町1153番地	工期	平成18年 4月29日から 平成18年 9月15日まで
		請負金額 (千円)	16,275
選定理由	<p>本業務は金沢東部環状道路終点部の鈴見交差点の立体化に向けた橋種選定を含めた予備設計を実施したものである。鈴見交差点は、金沢外環状道路と金沢中環状道路の分岐点であり、多くの交通量が集中している状況である。設計にあたっては、その現道交通をできるだけ円滑に処理することを念頭においた施工性とコスト縮減が重要であった。</p> <p>本業務の請負者は、現地状況を精緻に把握し、下部工の施工計画及び上部工の架設計画との整合を図りながら、施工性とコスト縮減の課題について、豊富な技術力と新技術の活用などにより的確に解決を図った。特に、完成形態を考慮した暫定2車線計画の策定にあたっては、分合流する交通処理の問題など慎重な検討に努めた。</p> <p>また、当該地区は金沢市の景観条例に指定されていることから、橋種の選定にあたっては、CGを用いて円滑な協議の推進に努めた。</p> <p>以上のとおり、業務の遂行にあたり、積極的な技術提案が成されるなど、成果は所期の目的を十分に満足するものであり、その内容は高度なものであった。</p>		

請負者	株式会社 国土開発センター 代表取締役 新家久司  石川県金沢市広岡3丁目1番1号	事務所名	金沢河川国道事務所
		業務名	平成18年度河川水辺の国勢調査業務委託
		工期	平成18年 6月 8日から 平成19年 3月30日まで
		請負金額 (千円)	18,900
選定理由	<p>本業務は河川環境の整備と保全を適切に推進するため、「河川水辺の国勢調査マニュアル」に基づき、河川空間の利用者数の実態調査、河川空間の親しみやすさを把握する川の通信簿、鳥類の生息状況等を把握する鳥類実態調査を実施したものである。</p> <p>本業務の請負者は当年度から改訂された調査手法マニュアルの変更に伴い、従前の調査精度確保のため、補足調査の実施や河川特性を踏まえた調査手法の改善点の提案を行い、調査を実施した。成果は限られた工期の中で、所期の目的を充分満足するものであり、その内容も高度なものであった。</p>		

請負者	株式会社 利水社 代表取締役 市山 勉 石川県金沢市東蚊爪1丁目19番地4	事務所名	金沢河川国道事務所
		業務名	平成18年度手取川・梯川流量観測作業
		工期	平成18年 4月12日から 平成19年 3月31日まで
		請負金額 (千円)	19,110
選定理由	<p>本業務は手取川・梯川において低水流量観測、高水流量観測、水質調査、濁水調査等を実施し、治水・利水・環境を考慮した総合的な河川管理に必要な基礎資料の収集、水位流量曲線式作成等を実施したものである。</p> <p>本業務の請負者は平成18年7月に発生した梅雨前線豪雨に際して、長期間の観測時間において十分な観測体制を組織し、適切な流量観測の実施、漏水原因把握のための臨時緊急採水を実施した。成果は限られた工期の中で、所用の目的を充分満足するものであり、その内容も高度なものであった。</p>		

請負者	宮田 隆志	事務所名	金沢河川国道事務所
	主任技術者	業務名	手取川堤防詳細点検地質調査作業
	株式会社ホクコク地水 代表取締役 尾蔵 博	工期	平成18年11月21日から 平成19年 3月28日まで
	石川県金沢市御影町25番1号	請負金額 (千円)	17,115
選定理由	<p>本業務は河川堤防の浸透に対する安全性の評価を行うため、堤体及び堤体基礎地盤の安全性評価の基礎資料を把握するため、地質調査を実施したものである。</p> <p>本業務の主任技術者として、業務に必要な専門技術力を十分に有し、説明力・プレゼンテーション力も優れており、作業全体の管理を適切に実施した。成果は所期の目的を十分に満足するものであり、技術提案が積極的になされ、その内容も高度なものであった。</p> <p>その結果、適切な現状堤防の土質性状の把握がなされ、適正かつ効率的な事業執行に貢献した。</p>		

平成18年度完成優良工事  
局長表彰・事務所長表彰における下請負者の表彰について

【金沢河川国道事務所】

《優良工事 下請負者》

番号	優良工事名	請負業者	下請負者	下請工事内容
1	庄・加茂道路工事	大鉄工業(株) 北陸支店	池田建設工業(株)	掘削・盛土工事
2	庄・加茂道路工事	大鉄工業(株) 北陸支店	東興建設(株) 金沢営業所	植生工事
3	洲衛舗装工事	北川ヒューテック(株)	伸栄建設(株)	道路改良工事

《優良工事 下請負技術者》

番号	技術者名	工事名	請負業者	所属会社名
1	谷内 教彦	庄・加茂道路工事	大鉄工業(株) 北陸支店	池田建設工業(株)
2	岩下 達也	庄・加茂道路工事	大鉄工業(株) 北陸支店	東興建設(株) 金沢営業所
3	松本 広一	洲衛舗装工事	北川ヒューテック(株)	伸栄建設(株)

## 下請負者等表彰選定書

番号	1
----	---

事務所名	金沢河川国道事務所
優良工事名	庄・加茂道路工事
元請推薦業者名	大鉄工業株式会社 北陸支店
下請負者名	池田建設工業株式会社
主任技術者名	主任技術者 谷内教彦
専門工事業	とび・土工工事業
工事内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掘削工 19,600m<sup>3</sup></li> <li>・路体盛土工 54,900m<sup>3</sup></li> <li>・ジオテキスタイル補強盛土工 676m<sup>2</sup></li> </ul>
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軟弱地盤上の盛土において、盛土の動態観測結果を基に盛土の施工位置等を調整及び監視しながら、安全に施工を完了させた。</li> <li>・軟弱地盤上の盛土工事においては、重機の徐行運転を徹底指導・監督し、振動騒音の低減に貢献した。</li> <li>・当工事災害防止協議会副会長として、他の下請業者との現場での調整を率先して行い、スムーズに工事を進行させた。</li> </ul>

## 下請負者等表彰選定書

番号	2
----	---

事務所名	金沢河川国道事務所		
優良工事名	庄・加茂道路工事		
元請推薦業者名	大鉄工業株式会社 北陸支店		
下請負者名	東興建設株式会社 金沢営業所		
主任技術者名	主任技術者 岩 下 達 也		
専門工事業	とび・土工工事業		
工事内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植生基材吹付工 t=3cm</li> <li>・ 植生基材吹付工 t=7cm</li> <li>・ 植生基材吹付工 (ソイルメント 3cm + 植生基材 3cm)</li> <li>・ 植生基材吹付工 (アルプラス工法 t=5cm)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9,110m<sup>2</sup></li> <li>280m<sup>2</sup></li> <li>840m<sup>2</sup></li> <li>3,570m<sup>2</sup></li> </ul>	
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 酸性土壌の植生工について、自社の特許であるリサイクル材を使用した新技術工法工法（アルプラス工法）にて施工を行い、良質な品質確保とコストの削減に貢献した。</li> <li>・ 以前から津幡町内の植生工事に携わっており、この土地特有の酸性土壌の性質や症状等を熟知し、植生時期等も考慮しながら、最適な材料の選定と施工を行った。</li> <li>・ 特に降雨に弱い地山には、植生が完了するまでシートで養生し、エロージョンを防止するなど、品質の確保に積極的であった。</li> </ul>		

